

令和5年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

共生ホーム よかあんべ

始良市加治木町反土 2378

電話 0995-62-5820 fax0995-64-3888

<http://www.yokaanbe.com/>

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年3月5日 (19:00~20:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 笠口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・中村・黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	2人	0人	10人

前回の改善計画

○その日初めて会ったご利用者へ、手を止めて、目を合わせ、相手の名前を呼び、自らの名前も名乗り、挨拶を交わす。
○利用開始して間もない方には、他のご利用者への紹介もおこない、ご利用者、スタッフの名前が飛び交うようにする。
※集中努力実施期間：通年

前回の改善計画に対する取組み結果

・それぞれのスタッフの出勤時やご利用者が通いでよかあんべに来られた時に、おひとりおひとりに名前を呼んで視線を合わせて挨拶をすることができてきている。スタッフ自身も名乗ることで、ご利用者から名前を呼んでいただけるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	3	1	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	7	2	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	4	1	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	4	3	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・出勤時におひとりおひとり、ご利用者の名前を呼んで、視線を合わせての挨拶。また、ご利用者のみならず、スタッフへの挨拶もできた。
・ご利用が始まって間もないご利用者へは、不安や緊張をなるべく取り除けるよう、またご利用者を焦らせないよう、特にゆっくりとした口調で、優しい声のトーンや言葉遣いに配慮。また、身体への触れ方や次の行動に移る際の動きのスピードにも気をつけ、相手のペースに合わせることもできた。
・新規の方や見学の方はご利用者へ紹介し、お隣に腰かけて会話ができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・「誰ですか?」と尋ねてくださる方や名前を覚えてくださる方へは積極的に名乗っているが、すべてのご利用者へはできていない。顔を覚えてもらえるだけでもいいという思いがあった。
・新規でご利用開始となる方(特に訪問支援の方)について、時間をとって全スタッフと情報共有することができていない。LINEを使うことや口頭での情報のやり取りが多かった。訪問するスタッフだけが当面分かっていたら問題はないと勝手に判断して、カンファレンスの時間を設定していない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○その日初めて会ったご利用者へ、手を止めて、目を合わせ、自分の名前を名乗り、相手の名前を呼んで挨拶を交わす。
○新しく利用されたご利用者へは、他のご利用者への紹介をおこなう。また、利用開始して2か月以内で全スタッフがご自宅へ訪問する。
※集中努力実施期間：通年

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年3月5日 (19:00~20:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・中村・黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	2人	10人

前回の改善計画
○日常の「～したい」の実現のために、ご利用者から、よかあんで～したい、～できるという言葉に耳を傾け、日々の活動、レクリエーションに実施につなげる。 ○事業所のボランティアさんにも協力を仰ぎ活動が行える。 ※集中努力実施期間：令和5年2月～4月
前回の改善計画に対する取組み結果
・集中努力実施期間で「ひなまつり」の飾りの作成・掲示はご利用者にも参加していただき一緒に活動ができた。季節感が味わえる掲示物を作成し、ご利用者の目につくりビングの壁に掲示した。 ・ボランティアの方へ声をかけ、あくまき作り・味噌作りの日程と一緒に調整し実施できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	2	6	2	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	6	2	2	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	3	2	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	1	5	4	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・なるべく多くのご利用者の「～したい」に耳を傾けた。特にお誕生日のタイミングで日常とは離れた環境やひとりひとりが特別な時間となるよう、ご利用者の「～したい」を誕生日企画としお祝いができた。 ・ご利用者の自宅の畑を使って、ご利用者と一緒に野菜を作り、その野菜を食事に使って振るまうことができた。 ・月に2回ある「元気よかつどい」にご利用者と一緒に参加している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・担当のスタッフに任せてばかりになり、協力的に動くことができず、日々の活動の中に装飾活動などのレクリエーションを取り入れられなかった。 ・ご利用者の隣に腰をおろしてじっくりと話を聴く時間を持たず、ご本人の「～したい」の想いを聞き出せなかった。 ・制作ができるご利用者の利用が終了したり、ボランティアの方に協力依頼をしたがフォローする体制を作っておらず、ご利用者と一緒に制作活動することを継続できなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	○それぞれのご利用者のお誕生日企画で、その本人の「～したい」を計画・実施しスタッフも一緒に楽しむ。 ・4月の職員会議でスタッフのチーム編成をし、担当ご利用者を決める。 ・ご本人やご家族に、したいことや、行ってみたいところ、食べたいものなど、ご本人の叶えたいことを聞いてその方のためのお誕生日企画をする。 ※集中努力実施期間：通年

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年3月5日(19:00~20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・中村・黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	5人	0人	10人

前回の改善計画	
○温かい食事をいただくことができる。 ①配食について、保温バッグなどの道具を検討し、温かいもの、冷たいものとわけて配食できるようにする。→同同人内の事業所の取り組みも参考にする。 ②ご利用者が食事の席についてから配膳できるようにする。→職員全員で現状、原因を整理し、目的を共有して改善していく。 ※集中努力実施期間：3ヶ月間	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・配食時の保温バッグの変更はできなかつたが、各家庭での温め直しができ温かい食事を提供できた。 ・ご飯、汁物は席につかれてから茶碗によそい、温かいうちに提供できた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	6	2	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	9	1	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	4	5	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	9	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	9	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・夕食はトータルフードでの外注となりお弁当の形となったが、配食ではご自宅の皿に移しかえて見た目にもおいしさを感じられるようになった。また、皿に移しかえたほうが自力での食事摂取ができる方へはご利用者の状態に合わせて対応できた。 ・体調変化や普段のご様子と違うことはそのままにせず、レベルをあげて記録をしたり、グループLINEで共有して支援の継続に繋げている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自宅への訪問をする機会がなかったり、自分からご利用者に聞こうとしていないため、ご利用者本人の自宅の生活環境や以前の暮らしについて知ることができていない。 ・自宅での様子やご家族とのやりとりの記録が漏れ、スタッフへの情報発信、共有ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○ご利用者の一日のスタートとなる起床後のケアを丁寧に行う。 ・鏡でご自分の顔を見ていただき、髪の毛を整えたり顔を温かいタオルで顔を拭く。 ・ご本人が使用されていた化粧品などのお顔の手入れに使用する。 ・衣類の汚れやほつれ、ボタンのかけ違いなどを気にかけて気づいたときに気づいたスタッフが対処する。 ※集中努力実施期間：3月~9月	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年3月5日 (19:00~20:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・中村・黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	4人	3人	0人	10人

前回の改善計画
○池田商店を活用し、地域の方とのつながりをつくりだせる行事計画を立てる。 ① 令和5年1月に写真展を開催/運営推進会議の開催 ② 令和5年3月職員会議において年間行事計画立案 ③ 月間カレンダーの作成→ 池田商店に掲示(地域の方へのアナウンス) ※取り組み期間: 通年
前回の改善計画に対する取組み結果
・池田ベースでのワークショップを4回開催しご利用者、ご家族、地域の方に参加していただいた。お茶を飲んで語る時間も設け、地域のことを知る機会となった。 ・運営推進会議を池田ベースで開催し、ご利用者の参加もできた。 ・1月に写真展を開催。数週間、地域の方が自由に観覧できるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	5	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	5	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	1	6	2	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	1	4	4	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・3月の職員会議で年間行事計画を立て、計画に沿って行事を行った。行事予定は年間カレンダーにし掲示した。また、地域の方の参加もある行事は自動販売機にポスター掲示もできた。 ・池田ベースで音楽セッションとカレー振る舞いを実施したところ、ご利用者が長らく会えていなかった友人に会うことができたり、まだお会いしたことのない地域の方を知ることができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の地域の民生委員や地域資源の把握ができていない。萩原・札立自治会以外のご利用者の地域資源は自分から把握しようとしていない。ご利用者ご家族との接点も少ない。 ・よかあんべ近所にご自宅があるご利用者でさえも、自宅付近を散歩したり自宅で息子様と会話をしてもらう機会を作れなかった。散歩を一緒にしたいと思っても他のスタッフに相談することもしなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○訪問支援が中心となっているご利用者の訪問や送迎を通して、その人が繋がっている人やサービスを知る。知り得た情報はB0システムの記録や個人ファイルに記録する。 ・有事に協力がもらえる地域の友人、知人や自治会役員(自治会長・民生委員・福祉担当者など) ・自宅に出入りされている給食宅配や訪問リハビリなどのサービス提供機関 ※集中努力実施期間: 3月~9月	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年3月5日 (19:00~20:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・中村・黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	3人	5人	2人	10人

前回の改善計画
○ご利用者とスタッフが一緒に畑で野菜を育て、収穫した食材を調理しみんなで美味しくいただく。 →年間の作物づくりのスケジュールカレンダーを作成する。 →岩城様宅のうるおい畑での作物づくりを継続する。 →食材は美味しくいただけるように工夫する。 ※集中努力実施期間：3月～5月
前回の改善計画に対する取組み結果
・担当スタッフを中心となったが、ご利用者宅の畑「うるおい畑」で数種類の野菜を育て、ご利用者やボランティアの方と収穫ができた。収穫した野菜は、日頃の食事で調理したり、イベントでカレーを作り地域の方に振るまうことができた。イベントは2回開催し参加者からも「おいしい」との声をいただいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	6	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	8	1	1	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	4	5	1	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	8	1	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・担当スタッフが声をかけてくれたため、うるおい畑での作業にご利用者と一緒に参加できた。 ・食事に、ご利用者宅の畑でとれた野菜を使ってあったため、ご利用者と旬の食材の話題で会話できた。 ・洗濯物たたみ、新聞折りなどご利用者ができることをしていただき、達成感を味わっていただく支援ができた。 ・ご本人からの電話の内容や訪問でいつもと違う様子があれば、訪問時間を早めたり回数を増やした。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・うるおい畑での野菜収穫がある時期は畑に意識が向き話題にしたが、それ以外では畑について触れることがなかった。また中心で活動されたご利用者へ「おいしかったです」「ありがとうございます」と十分に感謝の言葉を返せていない。 ・ご利用者に合わせた支援というものがどうするべきかをまだわかっていない。ご利用者の情報を把握しても実行に移せていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○ご利用者の変化やニーズに気づき、その人のその時の状態に合わせた柔軟なケアを提供できるよう、毎週月曜日の14時から30分間のカンファレンスを実施する。 ・テーマは1ヶ月ごとに対象となるご利用者をあげる ・〇〇さんの現状を出し合う→1週間取り組むことやケアとしてやってはいけないこと(倫理に反するケア)を考え→実践してみてどうだったか経過を共有し→次に取り組むことを考えてさらに実践する、を繰り返す。 ※集中努力実施期間：3月～9月	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年3月5日 (19:00~20:30)

6. 連携・協働

メンバー 苜口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・中村・黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	2人	1人	10人

前回の改善計画
○池田商店を地域との交流の場にする。(地域の方も池田商店を活用できる ※自由開放も含めて) →地域との交流の機会を生む場にするために何が出来るか皆で話し合う。 →年間計画を立てる(4の改善計画と合わせる) →各行事ごとの企画、準備、実施を繰り返す。 ※集中努力実施期間: 通年
前回の改善計画に対する取組み結果
・池田商店を「池田ベース」と名付け、職員も地域の方も親しみを持っていただけるようにし、毎朝シャッターを開けてスペースを開放した。時々、通りがかりの学生や地域の方が休憩に利用されている。 ・写真展、春カフェなど池田ベースを拠点に行事を開催し他事業所の方も参加して下さった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	2	0	8	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	1	9	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	3	2	5	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	4	1	3	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・運営推進会議を池田ベースで開催し、会議のメンバーさんへは名称が浸透した。 ・夕涼み会や加治木ビューティフル作戦は雨天で中止になったが、開催までの準備や検討を地域の方と一緒にできた。子ども会の保護者の方も、行事をきっかけにワークショップにも来てくださり繋がりができた。 ・加治木ビューティフル作戦では、当日に地域の方と一緒ににおにぎり作りができ、参加者に振るまえた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自ら他機関に向向くことをしていないため、運営推進会議以外の場で、関係機関との会議参加ができない。また、他のスタッフが運営推進会議に出席できるよう調整できていない。 ・どんなイベントを企画していいかわからず、自分からイベント発案できなかった。 ・他機関との会議にはどんなものがあるか知ろうとしていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○毎月の運営推進会議を池田ベースで開催し、スタッフ、ご利用者も一緒に参加する。 ・U様は萩原地区にご自宅があり、ご主人やご友人も運営推進会議のメンバーさんであるため、一緒に参加ができるようにし、地域の方との交流の機会とする。 ※集中努力実施期間: 通年	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年3月5日 (19:00~20:30)

7. 運営

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・中村・黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	2人	1人	10人

前回の改善計画
○ご利用者が安心して美味しく食事ができるように、昼食時に献立と食材の説明、調理のポイント、調理スタッフの紹介をする。 →発表者は早出のスタッフが決定する。 →メニュー記載はホワイトボードを活用する。 →発表スタッフは食事の準備が整うまで席を立たない、離れない。 ※集中努力実施期間：2月～4月
前回の改善計画に対する取組み結果
・昼食時、調理担当スタッフにより献立の紹介ができた。夕食は外注であるが、献立表をいただきメニューの紹介ができています。 ・食事の時間に合わせて、排泄を済ませたり、食事テーブルに移動をし、温かく美味しく食事が召し上がれるよう支援できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	0	4	4	2	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	5	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	3	3	10
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	4	2	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・自分から進んで献立の説明、調理スタッフの紹介ができた。必ず「いただきます」とあいさつをすることを心がけた。 ・ご利用者ご家族とは日頃、LINEを使ったやりとりが増えてきたが、文章の受け取り方によっては曖昧な伝わり方になるため、内容によっては直接お会いしたり電話でお話をするようにした。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・食事開始まで、配膳、排泄介助や移動などスタッフが動いており、配膳がすべて整うまでスタッフが席を離れないことを実行できていない。 ・運営推進会議の内容を、参加できなかったスタッフにその都度共有できていない。詳しい内容を知らないスタッフが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○池田ベースを使って、地域の方も参加できる音楽セッション・岩城カレー振る舞い・ドライフラワーワークショップを定期的に開催する。 ○地域の方や、異業種の方が池田ベースを活用していただけるようそれぞれのスタッフが働きかけ、池田ベースの使用方法についてわかりやすく掲示する。 ※集中努力実施期間：3月～9月	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年3月5日 (19:00~20:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・中村・黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	3人	0人	10人

前回の改善計画	
<p>○IDO オンライン研修の法定研修を全スタッフかならず、該当月に受講する。 ○全スタッフの目標(〇〇のピース)を研修コーナーに掲示する。 →研修グループが中心になり、2023年度の〇〇のピースを掲示する。そして見える化し、他のスタッフの目標を知り、お互いに目標設定に向けて協力し合うことができる。※集中努力実施期間:4月~6月</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・IDO オンライン研修の法定研修を毎月受講できた。全職員が該当月での受講ができるようアナウンスしたが、余裕をもって受講できない職員もいた。 ・スタッフ目標の見える化を目標にしていたが、研修コーナーに掲示することができなかった。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	5	0	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	5	0	2	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	1	9	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	6	3	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・個人のスキルアップの取り組みとして、介護支援専門員試験へのチャレンジ、介護支援専門員の更新研修の受講、バリデーションワーカー資格取得、タクティールケア認定資格取得ができた。音健士の資格を活かした音楽セッションイベントができた。 ・リスクマネジメントの取り組みとして、ヒヤリハット報告書の記入でスタッフ間で共有し、大きな事故を未然に防ぐよう努めた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修参加はできたが、外部での研修に参加できなかった。オンライン研修も全スタッフが同じ研修を受けていない。どんな研修を受けたのか、受講報告をすることができなかった。 ・研修グループの中心として、グループメンバーに声かけをしておらずグループの活動ができなかった。 ・事故報告書があがった時に、全スタッフが振り返りや今後の事故対策の検討ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>○IDO オンライン研修法定研修は、毎月20日までに受講し、毎年の繰り返しの受講で学びを深める。 ○IDO オンライン階層別研修は、それぞれ受講する研修が異なるため、受講した翌月の職員会議や職員研修で他のスタッフ向けに受講報告をする(資料のスライド2~3枚を抜粋して5分以内でまとめて報告をする) ※集中努力実施期間:通年</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年3月5日 (19:00~20:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 荳口・那須・山田・原野・有菌・梶原・徳永
田中・中村・黒田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	0人	0人	10人

前回の改善計画	<p>○押し入れやトイレのパット類を整理し、押し入れやトレイの扉を開けたら必ず閉める。</p> <p>○ご利用者への排泄の声掛けは、声をかける場所や言葉の選び方、声のトーンに配慮する。</p> <p>○ご利用者の衣類などを片付ける時には、必ず名前を確認して間違いのないようにする。記名のないものには適切な箇所に記入するよう配慮する。 ※集中努力実施期間：3ヶ月</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレに置くパット類は人目に触れないように配慮した。 ・トイレや押し入れのドアが開いたままになっていることが多かった。気づいた人が閉めるようにした。 ・衣類の記名はしているが、記名があるにも関わらず、他のご利用者の衣類と混ざっていることがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	5	3	2	0	10
②	虐待は行われていない	4	6	0	0	10
③	プライバシーが守られている	1	8	1	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	1	7	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	6	0	3	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・タンスや押し入れの季節外の衣類はご家族に持ち帰っていただくなど整理ができた。夜勤の空き時間を利用して日頃から押し入れの整理ができている。 ・特に排泄や入浴の介助時は、ご利用者の立場に立った時に恥ずかしいと思われぬように常に考えながら支援をした。 ・何度も車椅子から立ち上がられるご利用者へはすぐに座っていただくのではなく、一旦立ちあがり、歩行をしていただいた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・排泄の確認は言葉を選ぶようにはなったが、大きな声で確認しているスタッフもいる。 ・車椅子使用で、立ち上がることのできるご利用者の車椅子を、テーブルにつけて立ち上がれないようにしていることがあった。「座ってください」「待ってください」と行動を抑制する声かけをしている。安全面への配慮という意識と抑制の境目が分からなくなっていた。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>○1ヶ月同じご利用者を対象としてカンファレンスを実施。カンファレンスで決定することの中に、「やってはいけないケア＝倫理に反するケア」を決めて、そのケアは全スタッフが行わない。</p> <p>○食事介助・飲水介助・服薬介助は必ず腰を下ろして介助する。</p> <p>※集中努力実施期間：3月～8月</p>	

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	14	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	12	0	2
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	14	0	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	14	0	0

【上記4つのチェック項目に関する意見】

・評価項目について、職員がチームワークよく、真摯に取り組む、改善点を見つけ出して改善してきている様子がよく伝わってきます。

【前回の改善計画に対して意見】

・池田ベーすという場所ができて、そこで地域の方や、私たちも参加し交流する機会があった。具体的には、ご利用者さんの畑でとれた野菜を使いカレーをふるまってくれたこともとても美味しくいただきました。
・様々な行事、イベントがわかりやすく示してもらえると、またありがたいです。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

・様々な取組をされているので、それに対しての経過をまた教えてください。
・ご利用者の住まいのエリアの民生委員さんも運営推進会議に参加していただくと、よい意見交換ができ、新たなつながりもつくれていけるのではないのでしょうか。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

・自己評価の結果をよく見ると、評価のつけ方が低いのではないかと？もっと評価は高いのではないかと思います。自己評価が厳しいのでしょうか？ハードルを少し下げてもいいのではと思いました。
・職員それぞれ、自分の仕事を精一杯していると思いました。

【改善計画】※後日記入

○1～9の改善計画とA～Fの改善計画を一覧にして、運営推進会議で公表する。
○改善計画の経過を会議メンバーに運営推進会議で報告できる。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	14	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	12	0	2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	12	0	2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	10	0	4
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	12	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・年に1回でも、運営推進会議時に施設内見学を設けたら、事業所のしつらえ等理解が深まると思う。
- ・交流スペースや地域に開放している池田ベースにも Wi-Fi 設置され、地位の方にとってもより利用価値のあるスペースになっていると思う。
- ・玄関に鍵がかかっているかどうかは、知る機会がなくわからなかった。
- ・月1回の体操教室で中に入るが、不快な臭いはあまり感じない。室温は少し高いように感じるが、あまり動かせないご利用者にとっては寒く感じられるのかもしれない。

【前回の改善計画】

○運営推進会議を毎月、池田商店（池田ベース）・庭・事業所内での実施を検討し、事業所の環境を知る機会をつくる。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・月に1回、体操でよかあんべに入る。長いお付き合いになってきたご利用者が増えてきた。最初は難しい表情をされていた方が歌を歌ってくださったり、身体を動かすうちに笑顔になられているときは本当に嬉しい。いろいろとおしゃべりもしている。
- ・いつも座っておられる椅子やソファが、決まっていつもの場所にあり安心します。体操の時には広く場所を確保して環境を整えてあります。

【今回の改善計画】※後日記入

- 運営推進会議を毎月池田ベースで開催。
- 年1回事業所内に会議メンバーが入れる企画を検討実施。
- 防災訓練、運動教室、などは継続して事業所内に運営推進会議メンバーでもある地域の方が入れる機会にする。
- 床磨きなど日頃手がかけにくい場所は計画立てて実行する。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	13	0	1
1	職員はあいさつできていますか？	14	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	12	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	13	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	12	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・よかあんべ事業所の職員は、自治会活動、自治会行事等に積極的に参加されていると思います。
- ・よく見かける職員ではあるが、顔と名前が一致しないことがあります。
- ・よかあんべのことをもっと地域の人に知ってもらえる工夫は必要かもしれません。
- ・自治会の役員や子ども会の方々には、事業所は知られていると思う。
- ・新しく入った職員でしょうか？挨拶をされないこともある。

【前回の改善計画】

- 池田商店（池田ベース）での行事計画を池田商店に掲示し、地域の方との交流の機会に活用できる。
- 運営推進会議で、年間の行事計画を紹介する。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・池田ベースでのワークショップ第3弾に初めて参加。ミモザのリースができて我が家の玄関も素敵になった。参加することで、いろんな方々とお茶を飲みながらお話ができて、地域の事も知ることができ、楽しいひと時だった。
- ・池田ベースでの行事（音楽セッション・カレー振る舞い・ワークショップ）はとても楽しい。これからもよろしくお願いします。

【改善計画】※後日記入

- 今年には自治会班長の任務もあるので、班長としての役割と共に職員やご利用者が地域行事に参加できるようにする。
- 池田ベースにて、運営推進会議、ビューティフル作戦、ワークショップ、等、地域の方が気軽に有効に活用できる場所づくりを行う。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	13	0	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	10	1	3
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	11	0	3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	13	0	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	8	0	6

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の場では個人のことを発信しづらいこともあります。個人情報保護を遵守しながらもっと、地域の困りごとやご心配な方のことなど情報共有できる機会をつくっていただけるといいなと思った。 ・萩原自治会以外から通われているご利用者の、地域の民生委員さんへ運営推進会議参加を声かけしたらいいと思う。
<p>【前回の改善計画】</p> <p>○始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たち、地域の方と挨拶を交わす。</p> <p>○ちょこっと新聞をご利用者と一緒に届ける。</p>
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の取り組みを見聞きして、私たち老人クラブとして、会員さんへのさらなる声掛けが必要と思っています。クラブの存続を懸念する社会背景もあります。生活支援が必要な方々もおられます。若手の方々への声掛けしていきたいと思う。 ・地域に溶け込み、地域のこともしてくださり、とても良いと思います。 ・以前、民生委員時代に地域の方々、よかあんべさんと皆でウォークラリーを取り組んだこともよい取り組みでしたね。
<p>【改善計画】※後日記入</p> <p>○始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たち、地域の方と挨拶を交わす。</p> <p>○地域の方が参加される池田ベーすでの行事に、ご利用者と職員と一緒に参加する。</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	14	0	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	14	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	7	2	5
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	14	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	13	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・夕涼み会やビューティフル作戦は、準備をするだけでも大変だと思います。しかし継続をお願いしたいイベントである。
- ・会議の進行は、参加者に気遣いながら素敵な進行ができています。

【前回の改善計画】

- 運営推進会議の参加者がより発信できるように会議の進行に配慮する。
- ビューティフル作戦、夕涼み会（音楽会）を地域の方と話し合いのもと開催できる。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議は、職員の軽快な進行があり、介護だけでなく、地域の情報も含め、いろいろな情報が楽しみな場である。
- ・運営推進会議に、ご利用者がお住まいの地域の民生委員さんの参加も声かけしてみるといいと思う。
- ・他の事業所の運営推進会議にも参加していますが、事例検討を積極的に行っている事業所はないですね。個人情報保護のこともあり、どういう風に進めたらいいんでしょうね。

【改善計画】※後日記入

- 当会議に参加して下さるメンバーさんたちとテーマ共有するためにどのような議題設定ができるのか担当者と検討をする。
- ご利用者の住まいの担当民生委員さんにお声掛けすることができる。
- 夕涼み会、ビューティフル作戦の継続。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	13	0	1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	7	5	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	11	0	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	12	2	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	13	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・自治会も防災計画を立て、事業所の方と一緒に訓練ができればいいかなと思う。
- ・自治会の火災訓練も年に1回行われていますが参加者は少ない。
- ・毎年、防災訓練に参加していますが、今年は参加できなかった。
- ・地域でも様々な設定での具体的な避難訓練はしていないと思います。

【前回の改善計画】

- 年間行事と合わせて防災計画を簡潔に伝える機会をつくる。
- 防災訓練には地域の方に参加をお願いします。
- 普通救急救命講習を地域の方と開催する。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・非常時、高齢者や介助が必要な方（本人・家族）、近隣の方をどのようにして避難させたらよいか、専門的な立場から自治会に発信する機会を設ける等の活動があったら、地域力が上がるとともに、事業所への理解も深まるのではないのでしょうか。
- ・災害時の避難場所は、福祉センターじゃなかったかな。でもそこに行くまでに冠水する道路があるので心配ですよね。津波の時はよかあんべは高い場所にありますね。実際にお年寄りを避難させる訓練はしていないので、もし訓練をするときは協力しますね。もしもの時は息子夫婦にも協力するように言っておきます。
- ・よかあんべの建物の耐震基準はいかほどか？
- ・1914年（大正3年）の桜島大噴火の時の津波などの状況を再度調べてみたら参考になるのではないかと？
- ・当病院でも火災避難訓練と他の災害での訓練実施が求められているが、訓練ばかりになるのも課題。
- ・社協の見守りマップ作成も目的を超えて、こうした災害時にも活かせることも考え始めてきました。ほか、有識者から今やっている避難訓練の在り方にも問題があり、本当に実際に生きる訓練の在り方を考えることが必要と言われていた。

【改善計画】※後日記入

- 年間行事と合わせて防災計画を簡潔に伝える機会をつくる。
- 防災訓練には地域の方に参加をお願いすると共に、BCP（事業継続計画）も含めた避難訓練の企画を立案することができる。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社浪漫	代表者	黒岩 尚文	法人・事業所の特徴	① 地域とのつながり（地域交流スペース、池田ベアすの解放と活用・自治会への加入と自治会活動への参加・ボランティア） ② 始良市認定「介護の相談 語り処」の設置 ③ 子ども 110 番 ④ 始良っ子見守り隊参加 ⑤ 地域行事への参加 ⑥ ライフサポートプランの導入 ⑦ 認知症の人の、ひもときシートを活用したカンファレンス ⑧ 家族会の実施 ⑨ 社会貢献活動の受け入れ ⑩ 体操教室の開催（3B 体操等） ⑪ 運営推進会議を毎月開催 ⑫ 住民協働のゴミ拾い活動（加治木ビューティフル作戦）・夕涼み会の開催 ⑬ 国分に同一法人の事業所があり、お互いに連携を図り刺激し合いながら実践を共有し合っている。職員交流も行っている。 ⑭ 企業連携による積み木づくりプロジェクト実施 ⑮ offJT（IDO オンラインセミナー）OJT（事業所内研修）の連動した研修計画の実施 ⑯ 技能実習生の採用
事業所名	共生ホーム よかあんべ	管理者	荳口 淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	8人	1人	1人	1人	2人	2人	0人	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	○1～9の改善計画とA～Fの改善計画を一覧にして、運営推進会議で公表する。 ○改善計画の経過を会議メンバーに運営推進会議で報告できる。	・総括表を持って運営推進会議で公表することができた。また、当法人ホームページ他、介護サービス情報公表システムでも閲覧ができるようにしている。 ・毎月の運営推進会議にて、文書、写真等も活用して報告を行えた。	・評価項目について、職員がチームワークよく、真摯に取り組み、改善点を見つけ出して改善してきている様子がよく伝わってきます。 ・自己評価の結果をよく見ると、評価のつけ方が低いのではないかと、もっと評価は高いのではないかと思います。自己評価が厳しいのでしょうか？ハード	○1～9の改善計画とA～Fの改善計画を一覧にして、運営推進会議で公表する。 ○改善計画の経過を会議メンバーに運営推進会議で報告できる。

			<p>ルを少し下げてもいいのではと 思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員それぞれ、自分の仕事を 精一杯していると思いました。 	
B. 事業所の しつらえ・環境	<p>○運営推進会議を毎月、池田商店（池田ベース）・庭・事業所内での実施を検討し、事業所の環境を知る機会をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルスも5類に移行、感染状況も穏やかになり、運営推進会議も池田ベースにて開催が継続できた。また、防災訓練では年2回会議メンバーに事業所に入っていた他、毎月3B体操指導にて会議メンバーの運動推進さんが事業所内に入っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回でも、運営推進会議時に施設内見学を設けたら、事業所のしつらえ等理解が深まると思う。 ・交流スペースや地域に開放している池田ベースにもWi-Fi設置され、地位の方にとってもより利用価値のあるスペースになっていると思う。 ・玄関に鍵がかかっているかどうかは、知る機会がなくわからなかった。 ・月1回の体操教室で中に入るが、不快な臭いはあまり感じない。室温は少し高いように感じるが、あまり動かせないご利用者にとっては寒く感じられるのかもしれない。 	<p>○運営推進会議を毎月池田ベースで開催。</p> <p>○年1回事業所内に会議メンバーが入れる企画を検討実施。</p> <p>○防災訓練、運動教室、などは継続して事業所内に運営推進会議メンバーでもある地域の方が入れる機会にする。</p> <p>○床磨きなど日頃手がかけにくい場所は計画立てて実行する。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<p>○池田商店（池田ベース）での行事計画を池田商店に掲示し、地域の方との交流の機会を活用できる。</p> <p>○運営推進会議で、年間の行事計画を紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事計画を池田ベース入口に掲示することができた。運営推進会議、フラワーアレンジのワークショップ、音楽会、クリスマス会、ビューティフル作戦など事業所を中心に企画した活動に活用することができた。 また、毎日開放することで地域の方が雨よけ、休憩に使われる様子もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よかあんべ事業所の職員は、自治会活動、自治会行事等に積極的に参加されていると思います。 ・よく見かける職員ではあるが、顔と名前が一致しないことがあります。 ・よかあんべのことをもっと地域の人に知ってもらえる工夫は必要かもしれません。 ・自治会の役員や子ども会の方々には、事業所は知られていると思う。 ・新しく入った職員でしょうか？挨拶をされないこともある。 ・池田ベースでのワークショップ 	<p>○今年は自治会班長の任務もあるので、班長としての役割と共に職員やご利用者が地域行事に参加できるようにする。</p> <p>○池田ベースにて、運営推進会議、ビューティフル作戦、ワークショップ、等、地域の方が気軽に有効に活用できる場所づくりを行う。</p>

			<p>第3弾に初めて参加。ミモザのリースができて我が家の玄関も素敵になった。参加することで、いろんな方々とお茶を飲みながらお話ができて、地域の事も知ることができ、楽しいひと時だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池田ベースでの行事（音楽セッション・カレー振る舞い・ワークショップ）はとても楽しい。これからもよろしくお願ひします。 	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>○始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たち、地域の方と挨拶を交わす。</p> <p>○ちょこっと新聞をご利用者と一緒に届ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9月まで柘城小一年生のスクールガードに地域の担当者と共に取り組めた。 ・ちょこっと新聞は今年度で終了したが、その間は、愛読して下さった地域の方、関係機関に届けることができた。毎月自治会回覧板にも機関紙とともに入れて回覧することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当会議の場では個人のことを発信しづらいこともあります。個人情報保護を遵守しながらも、地域の困りごとやご心配な方のことなど情報共有できる機会をつくっていただけたいなと思った。 ・事業所の取り組みを見聞きして、私たち老人クラブとして、会員さんへのさらなる声掛けが必要と思っています。クラブの存続を懸念する社会背景もあります。生活支援が必要な方々もおられます。若手の方々への声掛けしていきたいと思う。 ・地域に溶け込み、地域のこともして下さり、とても良いと思います。 ・以前、民生委員時代に地域の方々、よかあんべさんと皆でウォークラリーを取り組んだこともよい取り組みでしたね。 	<p>○始良っ子見守り隊（スクールガード）は、ご利用者と共に交差点に立ち、子供たち、地域の方と挨拶を交わす。</p> <p>○地域の方が参加される池田ベースでの行事に、ご利用者と職員が一緒に参加する。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>○運営推進会議の参加者がより発信できるように会議の進行に配慮する。</p> <p>○ビューティフル作戦、夕涼み会（音楽会）を地域の方と話し合いのもと開催できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の中で会議メンバーさんの名前を呼びかけご意見を促した。医療機関、薬局、社協、包括さんからは特にそれぞれの立場からご意見や、活動案内など情報提供いただく機会を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夕涼み会やビューティフル作戦は、準備をするだけでも大変だと思います。しかし継続をお願いしたいイベントである。 ・会議の進行は、参加者に気遣いながら素敵な進行ができています。 	<p>○当会議に参加して下さるメンバーさんたちとテーマ共有するためにどのような議題設定ができるのか担当者で検討をする。</p> <p>○ご利用者の住まいの担当民生委員さんにお声掛けすることが</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ビューティフル作戦、夕涼み会はそれぞれ天候が悪く中止になったが、開催までの企画段階で当会議を活かすことができた。 	<p>介護だけでなく、地域の情報も含め、いろいろな情報が楽しみな場である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当会議に、ご利用者がお住まいの地域の民生委員さんの参加も声かけしてみるといいと思う。 	<p>できる。</p> <p>○夕涼み会、ビューティフル作戦の継続。</p>
F. 事業所の 防災・災害対策	<p>○年間行事と合わせて防災計画を簡潔に伝える機会をつくる。</p> <p>○防災訓練には地域の方に参加をお願いします。</p> <p>○普通救急救命講習を地域の方と開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めの当会議において書面にしてお伝えすることができた。 ・年2回の火災避難訓練には運営推進会議メンバーさんに模擬ご利用者になっていただき、ご意見をいただいた。 ・救急救命講習は企画にもいかなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会も防災計画を立て、事業所の方と一緒に訓練ができればいいかなと思う。 ・自治会の火災訓練も年に1回行われていますが参加者は少ない。 ・毎年、防災訓練に参加していますが、今年は参加できなかった。 ・非常時、高齢者や介助が必要な方（本人・家族）、近隣の方をどのようにして非難させたらよいか、専門的な立場から自治会に発信する機会を設ける等の活動があったら、地域力が上がるとともに、事業所への理解も深まるのではないのでしょうか。 	<p>○年間行事と合わせて防災計画を簡潔に伝える機会をつくる。</p> <p>○防災訓練には地域の方に参加をお願いすると共に、BCP（事業継続計画）も含めた避難訓練の企画を立案することができ</p>

